

事業所名 : フレンド高の原

作成日 : 平成22年4月8日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣住民との日常的な交流が薄く一部の人のみに限られている。	地域の中で、フレンド高の原GHのご利用者を知ってもらう。	地域自治体でのイベントに積極的に参加する。週に一度は公民館、街区公園、散歩、買い物、喫茶等出かける。	12ヶ月
1	2	近隣住民との日常的な交流が薄く、一部の人の交流に限られている。	地域の中で、グループホーム フレンド高の原のご利用者を知ってもらう。	①地域の自治会でのイベントに積極的に参加する。 ②週に一度は公民館や街区公園等への散歩、買い物、喫茶等に出かける。	12ヶ月
2	48	現場で行っているQOL向上のための個別のケアも個々のレベルダウンにより選択していかなければならない。	個々人のケアプランに個別ケアとしての内容を盛り込む。	・できる事重視の評価表(気づきノート)の活用 ・見極めを見逃さないような記録とする。 ・ケアプラン評価を確実にこなし、細かい変化を落としこむ。	12ヶ月
4	48	QOL向上のための個別ケアを、利用者ごとのレベルダウン状況に合わせて選択していかなければならない。	利用者ごとのケアプランに、個別ケアとしての内容を盛り込む。	①できる事重視の評価表(気づきノート)の活用 ②見極めを見逃さないような記録とする。 ③ケアプランの結果評価を確実にを行い、細かい変化も次のプランに反映させる。	12ヶ月
5					ヶ月